保存版

HOFU CITY
INLAND WATER INUNDATION HAZARD MAP

防府市防災マップ

内水氾濫編

この防災マップは、水防法に基づき防府市の下水道計画区域を対象に、想定し得る最大規模の降雨(1時間降雨量143mm)により、内水氾濫が発生した場合に想定される浸水範囲や浸水深などを記載したものです。
下水道の計画区域外は、グレーで表示しています。

※想定最大規模降雨は、近年の気候変動の影響を踏まえ、計画的な事前防災を進めるために国土交通省が地域区分ごとに設定した、1時間降雨量143mm/hを採用しています。(防府市の既往最大降雨:平成21年7月豪雨72.5mm/h)この想定最大規模降雨と計画高潮位(T.P.+4.11m)を重ね、浸水シミュレーションを行っています。
※内水とは、市街地から見て堤防の内側にある排水管路や水路などの水を指します。この防災マップでは、堤防の決壊等による河川氾濫は想定していません。河川氾濫については、防災マップ「洪水編」をご確認ください。
※浸水範囲や浸水深については、令和6年12月時点における国土地理院基盤地図情報(地形図、地籍画)を用いて作成しています。
※雨の降り方や土地の利用状況等によっては、このマップに示された箇所以外でも浸水が発生することがありますので注意してください。

災害が起こる前に日頃から備えることが減災につながります。事前の準備が大切です。

防府観光マスコットキャラクター「ぶっちー」

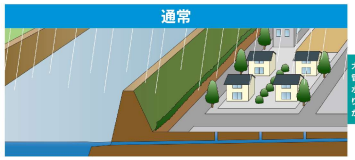
まずは、地図面で自分の居場所を探してみましょう!

▶浸水想定については……防府市 上下水道局 下水道課　TEL:0835-23-2534
▶避難等については……防府市 総務部 防災危機管理課　TEL:0835-25-2115

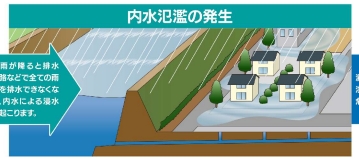
令和8年(2026年)5月作成

内水氾濫のメカニズムと備え

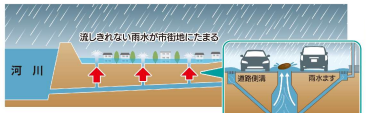
内水氾濫と洪水の違い

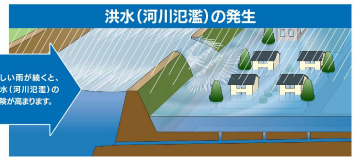


宅地に降った雨は雨水ますへ、道路に降った雨は道路側溝などに集まり、排水管路や水路等を過って河川に排水されます。



内水氾濫とは、雨の量が排水能力を超えたときや、河川などの排水先の水位が高くなったときに雨水を排水できなくなり、浸水することです。





洪水(河川氾濫)とは、大雨によって河川などの水位が上昇し、堤防を越えて水があふれたり、堤防の土砂が流出して決壊したりすることです。家屋の倒壊や流出など、大規模な被害を引き起こします。

大雨のときはこんな点に注意しましょう

集中豪雨に注意しましょう

突発的かつ局地的な集中豪雨に備えて、普段から雨の様子をチェックしておきましょう。

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間に10～20mmの雨	1時間に20～30mmの雨	1時間に30～50mmの雨	1時間に50～80mmの雨	1時間に80mm以上の雨
地面からの跳ね返りで足元がぬれる。長く続く時は注意が必要です。	傘をさしていてもぬれてしまう強さの土砂降り。側溝や下水などがあふれます。	バケツをひっくり返したような雨。道路が川のようになります。	滝のような雨。水しぶきで前方が一面がぼやけてしまい、視界が悪くなります。	息苦しくなるような圧迫感がある。大規模な災害が発生するおそれが強く、最重な警戒が必要です。

● 防災マップ(内水氾濫編)とは?

内水氾濫によって想定される浸水区域や浸水深などの情報をまとめたマップです。内水とは、市街地側から見て堤防の「内側」にある排水管路や水路などの水を指します。堤防の決壊は想定していないため、外水氾濫である防災マップ(洪水編)も併せてご覧ください。
防府市では1時間あたりの雨量が55mm～65mmに対応する下水道整備を進めています。防災マップ(内水氾濫編)は、排水能力を超える大雨に対して、市民の皆様に日頃からの備えや対策をとっていただくために作成したものです。

設定降雨　1時間で143mmの降雨

● 防災マップ(洪水編)とは?

洪水(河川氾濫)によって想定される浸水区域や浸水深などの情報をまとめたマップで、浸水が想定される区域の皆様に速やかに避難していただくために作成したものです。
河川上流域にのみ雨が降っている場合など、雨の降り方によっては、内水氾濫より前に洪水(河川氾濫)が発生することもありますので、気象情報や河川水位にご注意ください。

設定降雨
- 佐波川水系……48時間で508mmの降雨
- 柳川水系・馬刀川水系・新川水系・江川水系・河内川水系……24時間で557mmの降雨

内水氾濫時の避難行動

歩ける深さは男性で約70cm、女性で約50cmとされていますが、無理な避難は禁物です。高所で救助を待ちましょう。

水面下はどんな危険が潜んでいるかわからないので、長い棒を杖代わりにして安全を確認しながら歩きましょう。

長靴は禁物。紐で締められる運動靴がよいでしょう。(長靴の中に水が入ると、歩けなくなるおそれがあります)

地下道は真っ先に浸水してしまうため、もしもの時のために迂回路を確認しておきましょう。

家庭でできる簡易水防

浸水が浅い場合には、土のう(ない場合は水のう)を設置することで、水が建物へ侵入するのを防げます。簡易的な装置として、植栽用プランターや石油ポリタンク、長めの板(はしごやテーブルでも可)などを、ビニールシートで包んで設置してもよいでしょう。道路よりも建物が低い場合や、地下室がある場合などは、止水板を設置しておくと、より効果的です。

簡易水防工法例❶

プランター+ビニールシート
土を入れたプランターをビニールシートで巻き込んだものを使用し、浸水を防ぎます。

簡易水防工法例❷

簡易水のう+止水板
簡易水のうを作り、長めの板などと組み合わせて出入り口に設置し、浸水を防ぎます。

「簡易水のう」の作り方

家庭で使用しているごみ袋(40ℓ/ットル程度の容量)を二重にして、中に半分程度の水を入れて閉めます。

避難のタイミングと、とるべき行動

情報をもとに避難のタイミングを判断し、事前に決めておいた避難先へ落ち着いて避難しましょう。

雨の降り方/防災気象情報		警戒レベル	避難行動
大雨の数日～約1日前 大雨の可能性が高くなる **大雨の半日～数時間前** 雨が降り始め、強さを増す ・家の床下浸水のおそれ ・河川の増水、道路の冠水	レベル2 大雨注意報 災害が起こるおそれ	レベル2 気象庁が発表	**避難に備える** 防災マップで自分がすべき行動を確認
大雨の数時間～2時間程度前 ・道路の冠水 ・家の床上浸水のおそれ ・河川の更なる増水による氾濫	レベル3 大雨警報 重大な災害が起こるおそれ	レベル3 防府市が発令 高齢者等避難	**危険な場所から高齢者等は避難!** ●避難に時間がかかる方(高齢者・障害のある方・妊婦・乳幼児等) ●土砂災害警戒区域に住んでいる方 ●水位上昇のおそれがある河川沿いに住んでいる方 上記の方は速やかに避難を開始しましょう その他の方は避難の準備を整えておきましょう
・大雨となる ・大雨が一層激しくなる ・内水氾濫、洪水、土砂災害など大災害発生のおそれが極めて高い状況	レベル4 大雨危険警報	レベル4 防府市が発令 避難指示	**危険な場所から全員避難!** 危険な場所にいる人は速やかに避難しましょう 避難先までの移動が危険な場合は、近くの安全な場所、自宅内のより安全な場所に移動しましょう
広い範囲で数十年に一度の大雨	レベル5 大雨特別警報 大災害への最大級の警戒	レベル5 防府市が発令 緊急安全確保	**命の危険 直ちに安全確保!** すでに災害が発生又は切迫している状況 命を守るための最善の行動をとりましょう

避難する場所を決めましょう

裏面の防災マップで、お住まいの地域の災害リスクや住宅の条件を考慮した上で、避難行動や適切な避難先を確認しておきましょう。

スタート!

裏面の防災マップを見て、ご自宅や職場が地図のどこにあるか見てみましょう。
次の質問に当てはまる項目を選び、安全を確保する場所を決めましょう。

あてはまる浸水の深さより高い場所で長時間過ごせますか?
浸水の深さが3mを超えると、木造平屋は流出する可能性があります。

浸水想定区域に入っていますか?

■当てはまる　■当てはまる

土砂災害警戒区域に入っていますか?

■入っていない　■入っている

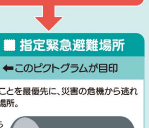
■自宅にいる
家での備えが必須!
日頃から家の点検や備蓄品などを備えておきましょう。

⚠災害リスクがあります!
その場を離れ、安全な場所に移動しましょう!

■親戚・知人宅
・緊急時に避難させてもらえるか、事前に相談しておきましょう。
・避難生活に必要なものは自分で用意しておきましょう。

■旅館・ホテル
・指定緊急避難場所での宿集を避けたい場合に選択します。

■指定緊急避難場所
←このピクトグラムが目印
・命を守ることを最優先に、災害の危機から逃れるための場所。
詳細はこちら



あらかじめ避難先を決めておきましょう ●ハザードマップで避難先の安全性を確認 ●非常持ち出し品の準備

災害への心構え

避難の心得

いざというときのために、日頃から避難に必要なものを準備し、避難の手順について確認しておきましょう。また、災害の危険性がある場合には、正しい情報を入手し、早めの避難を心がけましょう。

状況を見て、早めに避難しましょう
避難情報などが発表されていなくても、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。

浸水時、自動車での避難は危険
普通自動車はわ30cmの浸水で走行困難になります。浸水時、自動車での避難は危険です。

浸水時に長靴は厳禁
避難には運動靴が最適です。長靴は水が入ると歩けなくなります。また、素足での避難は大変危険です。

家族に連絡メモを残しましょう
外出中の家族には、「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくと良いでしょう。

防災メモを持ちましょう
高齢者やこどもは、事前に住所、氏名、連絡先などを記載した、メモを用意し、身につけて避難しましょう。

近隣で助け合いましょう
単独での行動は避け、近所の人などと集団で避難しましょう。

非常持ち出し品を準備
非常持ち出し品はリュックサックなどにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。

安全なルートで避難
避難場所への経路は、川べりや地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。

避難行動(立退き避難・屋内安全確保と緊急安全確保)

災害ではためらわずに早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動は避けなければいけません。そのような場合は、避難指示などが発令されていても、がけや浸水区域から離れる(水平避難)だけでなく、自宅の上階や建物の上層階といった高い場所への移動(垂直避難)をして救助を待つという判断も必要です。

地域ぐるみで取り組む防災・減災

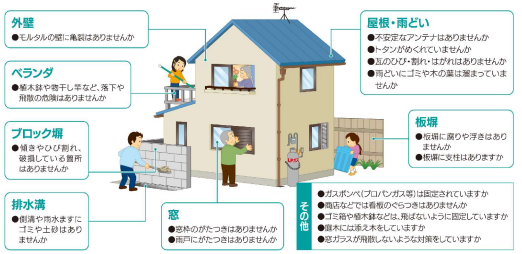
住民同士が協力して地域の防災力を高めましょう

自助
自分の命は自分で守る

共助
自分たちの地域は自分たちで守る

水害における自宅の備え

水害による家屋の被害を抑えるために、日頃から家のまわりの点検や整備を行いましょう。



非常持ち出し品について

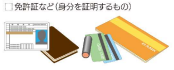
いざというときに備えて、非常持ち出し品は、持ち運べる必要最小限のものをリュックサックなどにまとめて、いつでも持ち出せる場所に保管しておきましょう。

●食料
- □ 飲料水(1人1日3リットルを目安)
- □ 非常食(缶詰、乾パン、レトルト食品など)
- □ 携帯食(チョコレート、キャンディーなど)
- □ 粉ミルク、哺乳瓶(赤ちゃんがいる場合)

日頃から、3日分の食料や飲料水等を、非常備蓄品として常備しておきましょう。

●救急・安全対策
- □ 常備薬(胃腸薬、かぜ薬など)
- □ 包帯、ガーゼ、ばんそうこう
- □ 傷薬、消毒薬
- □ 持病のある方の薬
- □ お薬手帳(処方箋の控など)
- □ ホイッスル
- □ ヘルメット、防災ずきん
- □ 体温計、消毒液
- □ 目立つ色の服・合羽
- □ 懐中電灯

●貴重品
- □ 現金(小銭も必要)
- □ 預貯金通帳、印鑑
- □ クレジットカード類
- □ マイナンバーカード
- □ 免許証など(身分を証明するもの)



●衣類など
- □ 衣類(厚手の物と薄い物)
- □ 下着類
- □ タオル、毛布
- □ 手袋、軍手
- □ 運袋
- □ 雨具

●日用品など
- □ ポリ袋(ビニール袋)
- □ 新聞紙
- □ ラジオ、ライター
- □ ナイフ、缶切り
- □ ティッシュペーパー
- □ ウエットティッシュ
- □ 懐中電灯(予備電池)
- □ 携帯ラジオ(予備電池)
- □ 携帯トイレ
- □ 携帯電話(充電器・バッテリー)
- □ 筆記用具(油性マジック)
- □ 洗面用具
- □ メガネ
- □ マスク
- □ 使い捨てカイロ
- □ 紙おむつ
- □ 生理用品
- □ 布ガムテープ
- □ ロープ
- □ 地図(防災マップ)

避難訓練に参加しましょう
避難路の安全性の確保のために、地域の避難訓練に参加しましょう。
避難行動要支援者への支援方法についても、話し合うと良いでしょう。

情報の備えをしましょう

情報の入手先

●防府市メールサービス
防災情報や防犯情報、イベント情報、議会情報など日常生活に役立つ情報をメール配信します。

●防災行政無線(スピーカー)
防災行政無線放送の内容を電話で確認できます。

IP電話不可
0800-200-2446
IP電話対応
0800-200-2447

●テレビのdボタン
NHK総合、KRY山口放送、NAG山口朝日放送、TYSテレビ山口を表示し、リモコンの「dボタン」を押すと、防災に関する情報や気象情報、市から発信する避難情報、避難所開設などの情報をいち早く見ることができます。
操作方法(NHK総合の場合)
❶リモコンの「dボタン」を押す。
❷リモコンの矢印で「防災・生活情報」を選択し、「決定」を押す。
❸リモコンの矢印で見たい情報を選択し、「決定」を押すと情報が表示されます。
※チャンネルにより、データ放送の操作画面は異なります。

防災情報の伝達方法

防府市(災害対策本部)
- 防災行政無線
- 防府市メールサービス
- LINE/緊急速報メール
- 緊急告知防災ラジオ
- 防府市ホームページ
- 電話・ファックス配信サービス
- 広報車

気象情報
- 報道(テレビ・ラジオ)
- FMわっしょい77・3MHz
- 防府市防災気象情報システム

住民のみなさん(自主防災組織)

防府市LINE公式アカウント
「防災情報」をはじめ、防府市の様々な情報へ簡単にアクセスできます。
緊急時は「避難情報」などをメッセージ配信しています。

防災マップ	避難所情報
河川カメラ映像 河川カメラ監視システム	河川の水位・気象情報 防災気象情報システム

●登録方法
カメラをかざしてこの次元コードを読み取ってください。

●災害別防災マップ/防災必携
大雨による内水が発生したときは、同時に「土砂災害」も発生しやすくなります。市が作成していた他の災害の防災マップも確認しておきましょう。防府市役所で配布しています。
防府市ホームページからもご覧いただけます。

防災必携

洪水編

高潮編

土砂災害編

地震編

津波編

デジタルハザードマップ▶　ため池ハザードマップ▶　重ねるハザードマップ▶